

(参考)施策・指標(ロジックモデル)

① 目指す姿 (A分野アウトカム指標)				② 施策の方向性 (B中間アウトカム指標)				③ 具体施策 C初期アウトカム指標						
番号		鳥取県	全国	番号		鳥取県	全国	番号		鳥取県	全国			
1	虚血性心疾患患者の発症数が減少している			1	虚血性心疾患の危険因子(高血圧・糖尿病・脂質異常症)を無治療で放置する人を減少させる			1	基礎疾患及び危険因子の管理の促進					
	A1	心疾患の年齢調整死亡率(男)	148.1		190.1	B1	高血圧未治療者の割合		43.4%	—	C1	喫煙率(男)	29.0%	28.8%
	A2	心疾患の年齢調整死亡率(女)	82.7		109.2	B2	脂質異常症未治療者の割合		62.3%	—	C1	喫煙率(女)	6.8%	8.8%
					B3	糖尿病予備群の割合	1.0%		—	C2	禁煙外来を行っている医療機関数	16.8	12.8	
				B4	糖尿病有病者の割合	9.7%	—		C3	ニコチン依存管理料の実施件数	450.3	332.8		
									C4	ハイリスク飲酒者の割合(男)	19.0%	14.9%		
									C4	ハイリスク飲酒者の割合(女)	8.0%	9.1%		
									C5	特定健康診査受診率	54.4%	56.5%		
									C5	特定保健指導実施率	24.3%	24.7%		
									C6	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率	213.2	216.9		
									C6	高血圧性疾患患者の年齢調整外来受療率(参考:平成27年平準化人口モデル)	448.0	447.1		
									C7	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率	65.4	66.8		
									C7	脂質異常症患者の年齢調整外来受療率(参考:平成27年平準化人口モデル)	122.8	118.4		
									C8	肥満傾向児の出現率(小学校・11歳)	10.03%	10.98%		
									C8	肥満傾向児の出現率(中学校・14歳)	8.86%	9.05%		
								C8	肥満傾向児の出現率(高等学校・17歳)	8.63%	9.02%			
								C9	特定健康診査受診者のうち内臓脂肪症候群の割合(40歳以上75歳未満)	11.0%	—			
2	急性心筋梗塞と急性大動脈解離の急性期死亡率が低下している			2	発症後、速やかに救急要請・搬送が行われている			2	急性心筋梗塞発症直後に病院外で心肺停止状態となった場合、周囲にいるもの等によるAED使用を含めた救急蘇生方等の実施が行える					
	A3	急性心筋梗塞(日本循環器学会の研修病院、研修関連病院に限る ^{※1})の院内死亡率	10.3%		—	B5	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後生存率		5.6%	11.1%	C10	消防局主催の応急手当講習会の参加延人員	2,053	—
	A4	急性大動脈解離(A型大動脈解離に限る ^{※2})の院内死亡率	19.1%	—	B6	心原性でかつ一般市民により心肺機能停止の時点が目撃された症例の1か月後社会復帰率	2.2%		6.9%	C11	心肺停止状態搬送者のうち、県民により除動が実施された件数	5	1,719	
				3	急性期の心血管疾患治療の質が確保されている			3	急性期医療の心血管疾患治療が実施可能な体制の整備					
					B7	心筋梗塞に対する冠動脈再開通件数(医療機関数)	7.0		—	C12	心筋梗塞の専用病床(CCU)を有する施設数	1	258	
					B7	心筋梗塞に対する冠動脈再開通件数(算定回数)	329		—	C12	心筋梗塞の専用病床(CCU)を有する病床数(人口10万対)	0.7	1.3	
					B7	心筋梗塞に対する冠動脈再開通件数(レセプト件数)	258		—	C13	大動脈バルーンポンピング法(IABP)が行える届出施設数	10	—	
				B8	急性心不全(慢性心不全の急性増悪含む)患者が退院後30日以内に再入院する率(日本循環器学会の研修病院、研修関連病院に限る ^{※4})	5.6	—		C14	補助循環用ポンプカテーテル(IMPELLA)が行える届出施設数	1	—		
				B9	大動脈解離患者の基幹病院 ^{※5} への搬送時間(A型大動脈解離に限る)(単位:分)	50.7	—		C15	人工心肺とポンプを用いた体外循環による治療(VA-ECMO)が行える届出施設数	4	—		
									C15	人工心肺とポンプを用いた体外循環による治療(VA-ECMO)の設置台数	13	—		
									C16	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数(算定回数)	25.7	29.1		
								C16	急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈インターベンションの実施件数(レセプト件数)	80.8	100.0			
								C17	虚血性心疾患に対する心臓血管外科手術件数	20	11.6			
								C18	急性大動脈解離(A型大動脈解離に限る)の手術件数 ^{※6}	37	—			

※1 鳥大病院、山陰労災病院、県立厚生病院、県立中央病院、鳥取赤十字病院
 ※2 鳥大病院、山陰労災病院、県立中央病院

※4 鳥大病院、山陰労災病院、県立厚生病院、県立中央病院、鳥取赤十字病院
 ※5 鳥大病院、山陰労災病院、県立中央病院

※6 鳥大病院、山陰労災病院、県立中央病院

3		鳥取県	全国
虚血性心疾患患者が在宅等での生活に復帰できている			
A5	退院後、家庭復帰の患者数(単位:0.1千人)	1.5	—
A6	在宅復帰患者の割合	96.7%	94.5%

4		鳥取県	全国
急性期入院時から維持期・回復期まで継続したリハビリテーションが提供されている			
B10	回復期リハビリテーション病床数	111.3	70.2 *
B11	リハビリテーションが実施可能な医療機関数	1.8	1.3 *
B12	訪問リハビリを提供している事業所数	13.0	1,889.0 *
B13	通所リハビリを提供している事業所数	11.2	6.1 *

4		鳥取県	全国
急性期入院時からの心血管疾患リハビリテーションの提供			
C19	入院心血管疾患リハビリテーション実施件数(単位数)	6,511	6,117.8 *
	入院心血管疾患リハビリテーション実施件数(レセプト件数)	106.9	100.0
5		鳥取県	全国
退院後、外来での心血管疾患リハビリテーションの提供			
C20	外来心血管疾患リハビリテーション実施件数(医療機関数)	10	—
	外来心血管疾患リハビリテーション実施件数(単位回数)	793.8	1,402.2
	外来心血管疾患リハビリテーション実施件数(レセプト件数)	51.6	100.0

4		鳥取県	全国
心不全患者が退院後6か月以内に再入院する率を減らす			
A7	急性心不全(慢性心不全の急性増悪含む)患者が退院後6か月以内に再入院する率(日本循環器学会認定の研修病院・研修関連病院 ^{※3})	10.7%	—

※3 鳥大病院、山陰労災病院、県立厚生病院、県立中央病院、鳥取赤十字病院

5		鳥取県	全国
多職種が連携した心不全管理の体制が構築されている			
B14	訪問看護を受ける患者数(医療)	837.7	376.9 *
B15	訪問看護を受ける患者数(介護)	5,826.1	5,663.4 *
B16	入退院支援を行っている医療機関数	3.4	2.6 *
B17	医療ソーシャルワーカー数	16.1	12.9 *

*は人口10万人対に換算

6		鳥取県	全国
心身の緩和ケアが受けられる体制が整っている			
C21	心血管疾患患者に緩和ケアを提供する医療施設数	0.7	0.7 *
	心不全緩和ケアトレーニングコース受講者数	0.7	0.9 *
7		鳥取県	全国
再発予防の治療、基礎疾患や危険因子の管理をできる体制が整っている			
C23	慢性心不全の再発を予防するためのケアに従事している看護師数	0.4	0.4 *
	歯周病専門医が在籍する医療機関数	0.5	0.8 *
8		鳥取県	全国
心血管疾患患者の就労支援を推進させる体制が整っている			
C25	両立支援コーディネーター基礎研修の受講者数	28.0	14.0 *
9		鳥取県	全国
治療・介護を行う多職種が患者情報を把握した適切な支援の実施、かかりつけ医による質の高い心不全管理の提供			
C26	虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(医療機関数)	221.5	66.8 *
	虚血性心疾患患者における地域連携計画作成等の実施件数(算定回数)	283.1	100.0 *